

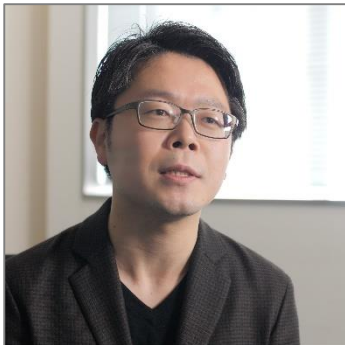
2030生物多様性枠組実現日本会議（J-GBF）

2022年1月6日開催 第一回 行動変容ワーキンググループ

政策ナッジの使い方

東北学院大学経済学部 准教授

佐々木 周作



- 1984年、大阪府交野市生まれ。京都大学経済学部卒業後、三菱東京UFJ銀行、大阪大学大学院等を経て現在に至る。博士（経済学）。
- 専門は、**応用ミクロ計量経済学・行動経済学**。
- 行動経済学会・理事。また、環境省・経済産業省・横浜市など中央省庁・地方自治体の**ナッジ・ユニット**の有識者委員やアドバイザーを務める。

行動経済学とナッジ

- 大抵の人が共通して持っている、一見不合理な行動特性のパターンとその背景にあるメカニズムをできるだけ簡潔に整理する。
- 背景メカニズムに基づき、本人にとっても社会にとっても理想的な選択の実行を促すためのコミュニケーション方法を提案する（**=ナッジ**）。



出典：『今日から使える行動経済学』
（山根・黒川・佐々木・高阪, 2019）

行動変容とは何か？①

- 行動変容とは、文字通り人の「行動」を「変容」させること。
- ナッジには、「**行動①**」を選択していた人に「**行動②**」を選択させる、行動変容効果が期待されている。

例)

- | | | |
|-------------|---|--------|
| ➤ 臓器提供しない | ⇒ | 臓器提供する |
| ➤ がん検診受診しない | ⇒ | 受診する |
| ➤ 節電しない | ⇒ | 節電する |
| ➤ ワクチン接種しない | ⇒ | 接種する |



行動変容とは何か？②

- 前ページの例は、一見すると、「しない」より「する」の方が良いように思える。
- でも、本当にそうか？



例)

- | | | | | |
|-------------|---|--------|---|---------|
| ➤ 臓器提供しない | ⇒ | 臓器提供する | ⇒ | 家族が大反対 |
| ➤ がん検診受診しない | ⇒ | 受診する | ⇒ | 本人は知りたく |
| ➤ なかったかも | | | | |
| ➤ 節電しない | ⇒ | 節電する | ⇒ | 健康を害する |
| ➤ ワクチン接種しない | ⇒ | 接種する | ⇒ | 強い副反応 |

行動変容とは何か？③

- ナッジには、「**行動①**」を選択していた人に「**行動②**」を選択させる、行動変容効果が期待されている。
1. **行動①**がその人にとって最適でない選択で、**行動②**が最適な選択のとき ⇒ **ナッジ**
 2. **行動①**がその人にとって最適な選択で、**行動②**が最適でない選択のとき ⇒ **スラッジ**（汚泥）

ナッジの4分類

行動経済学的意思決定のクセを活用したナッジ

デフォルト

損失フレーム

社会比較

コミットメント

デフォルト

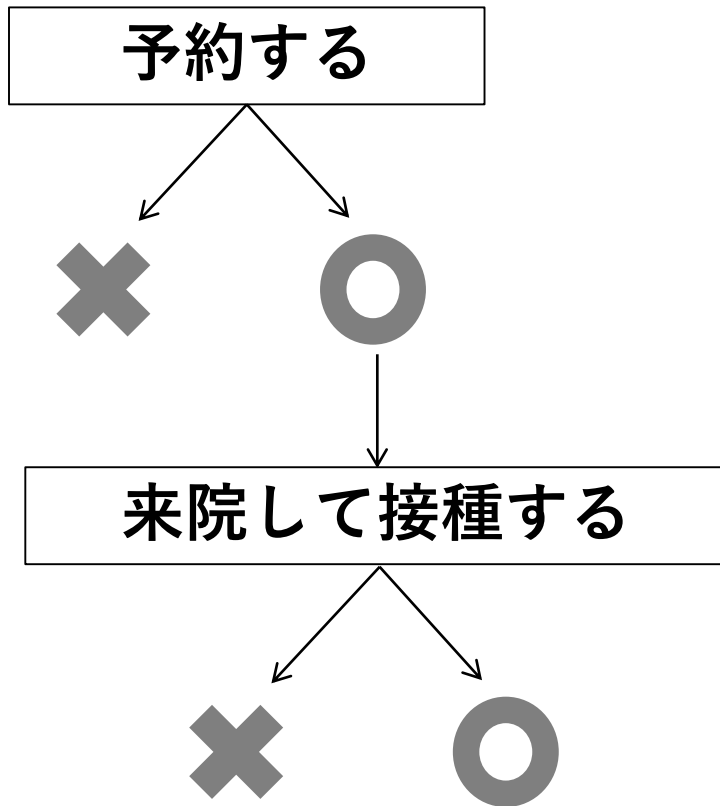
「複数の日程を知らせて自主的な予約を呼びかける」よりも、
「接種日時をあらかじめ仮決めし、指定した日時での接種を
呼びかける」ほうが、インフルエンザ・ワクチンの接種率は
約10%高くなった。

出典：Chapman et al, 2016

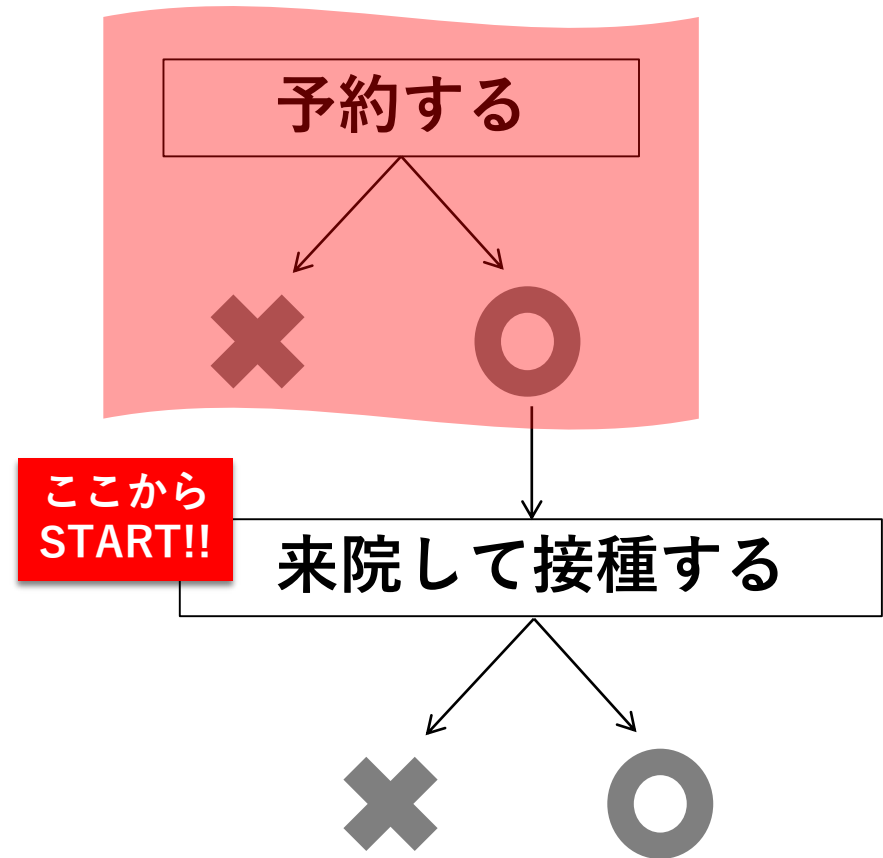


デフォルト

<従来のやり方>



<今回のやり方>



デフォルト

- **デフォルト**とは、「初期設定」という意味。わたしたちは、**デフォルト**の影響を受けやすい。
- 従来のやり方では、複数の日程候補の中から自分で日程を選んで予約する必要がある。この作業は、認知的な負荷がとて大きい。

デフォルト

- 中部管区及び関東管区の警察局がデフォルトのナッジを活用して、宿直明けの休暇取得を促進。

従来の書式

※「取得しない」がデフォルト

氏名	宿直明け休暇の取得
	<input type="checkbox"/> する
	<input type="checkbox"/> する



新しい書式

※「取得する」がデフォルト

氏名	宿直明け休暇の取得
	<input type="checkbox"/> しない
	<input type="checkbox"/> しない

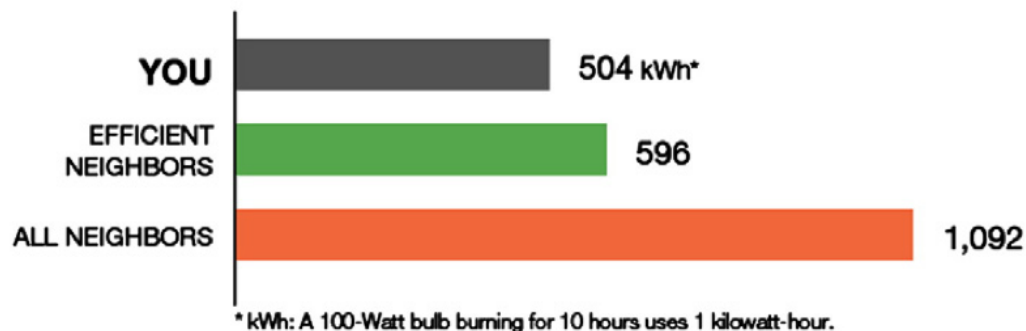
- 平成30年度の宿直明けの休暇取得者：延べ37人 ⇒ **108人**
 - 年間休暇取得日数：平均12.3日 ⇒ **14.2日**
- ▶ 内閣人事局表彰，行動経済学会・環境省共催・第2回ベストナッジ賞受賞など

社会比較ナッジ

- 電力料金の明細書を利用した、米国のフィールド実験。
- ランダムに選出した世帯に、
 - 近くの家の電力消費量
 - 近くの効率的な家の電力消費量 を伝える。

Last Month Neighborhood Comparison

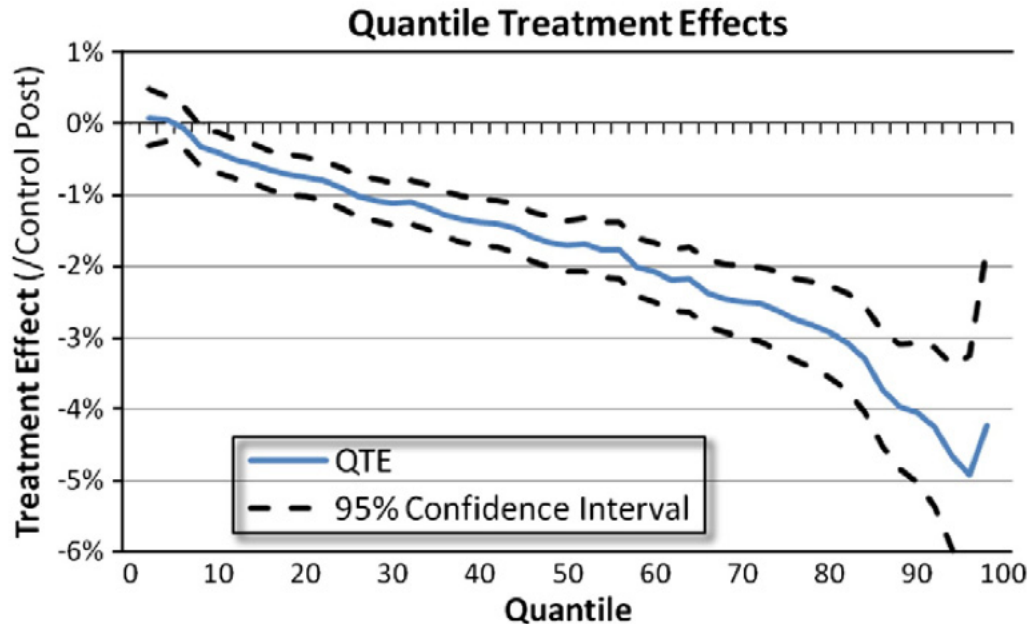
Last month you used **15% LESS** electricity than your efficient neighbors.



YOUR EFFICIENCY STANDING:



社会比較ナッジ



出典：Allcott (2011)

- 平均で**2%の電力使用量の削減効果**があった。
- もともと電力使用量の多かった世帯で、削減効果が大きかった。
- もともと電力使用量の少なかった世帯で、使用量が増加するという現象（=**ブーメラン効果**）は生じなかった。

社会比較ナッジ

省エネレポートの社会比較ナッジ

先月のご使用量比較



2016年6月21日-7月20日

管内の最大100世帯のよく似たご家庭のデータを参考にしています。省エネ上手なご家庭とは、電気使用量の少ない上位20%の世帯を指します。詳細は特設サイトをご参照ください。 <http://j-nudge.jp/her>

! よく似たご家庭の使用量を
上回っています。

よく似たご家庭の使用量を

8% 上回っています

出典：日本オラクル「ご家庭の省エネレポート」のイメージ図をもとに作成。

既存の政策手法とナッジ

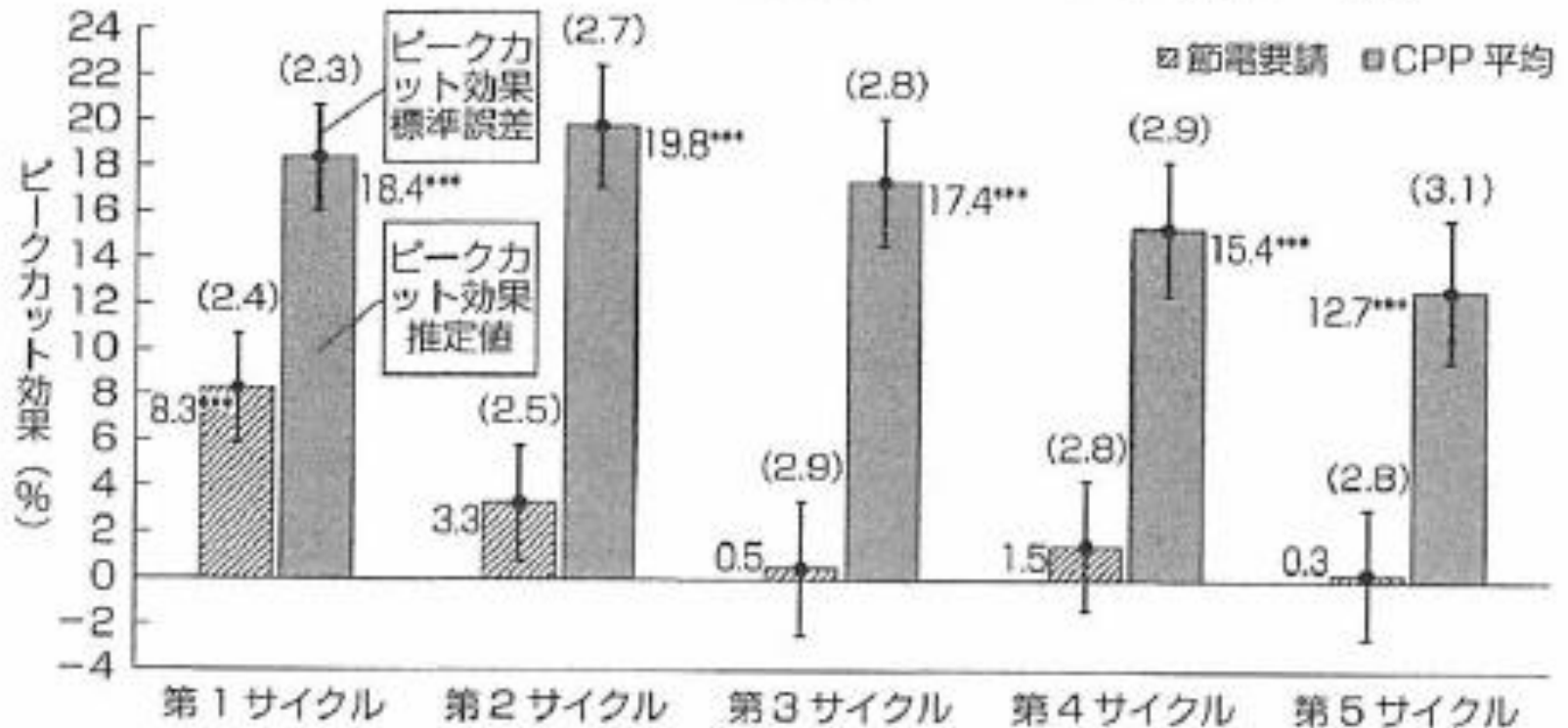
- ナッジは、既存の財政的手法や規制的手法に比べて、事務負担や予算負担が小さいという点で注目を集めている。
- 2018年時点で、世界には200以上のナッジ・ユニットが存在。
- 日本でも、経済産業省・環境省・横浜市など。



出典：日本版ナッジ・ユニットBEST「年次報告書(平成29・30年度)」P.3のイメージ図をもとに作成。

金銭的インセンティブとナッジ

図4-7 けいはんな 2012年夏期持続性——ピーク時(1pm~4pm)



出典：依田・田中・伊藤（2017）

ナッジの最新論点

□ ナッジの行動変容効果が異質的である可能性

- ナッジによる補助なしでも、行動変容できる人
- ナッジによる補助があれば、行動変容できる人
- ナッジによる補助があっても、それだけでは行動変容できない人など


□ ナッジが副作用を持つ可能性

- 短期的には行動変容しても、その後リバウンドしてしまう
- ターゲットの行動変容を促しても、他の行動を阻害してしまうなど

行動変容WGでは、「**ナッジ×EBPM**」の両輪で良質なエビデンスを蓄積し、社会実装につなげていきたい。

参考情報

YouTube動画「EBPM活用塾－ナッジ－」




EBPM活用塾－ナッジ－ 東北学院大学経済学部 佐々木 周作
総務省統計局・239 回視聴・1 週間前

有識者や研究者に、データ利活用のポイントを伺いました。わかりやすい動画解説をご覧ください。
総務省統計局 地方公共団体のための ...

字幕

8:38

YouTube動画「政策現場のための行動経済学入門 ナッジ編」



行動経済学ナッジ実践風土を築くための実践

デフォルトの変更	損失の強調
他人との比較	コミットメント

【後編：ナッジ】政策現場のための行動経済学入門
ナニワ大学・行動経済学部CH・1899 回視聴・7 か月前

この動画では、行動経済学の4種類のナッジ「デフォルトの変更」「損失の強調」「他人との比較」「コミットメント」について解説してい...

政策現場のための
行動経済学入門

後編 30:42

文献情報

Allcott, H. (2011). Social norms and energy conservation. *Journal of Public Economics*, 95(9-10), 1082-1095.

Chapman, G. B., Li, M., Leventhal, H., and Leventhal, E. A. (2016). Default clinic appointments promote influenza vaccination uptake without a displacement effect. *Behavioral Science & Policy*, 2(2), 40-50.

依田高典・田中誠・伊藤公一朗（2017）『スマートグリッド・エコノミクス：フィールド実験・行動経済学・ビッグデータが拓くエビデンス政策』有斐閣，東京。

日本版ナッジ・ユニット連絡会議（BEST）（2019）『年次報告書（平成29・30年度）』
<http://www.env.go.jp/earth/ondanka/nudge/report1.pdf>

山根承子・黒川博文・佐々木周作・高阪勇毅（2019）『今日から使える行動経済学』ナツメ社，東京。